

# 広報ひゅうぜん

No. 297

昭和57年5月1日発行

毎月1回・1日発行

発行所 入善町役場

富山県入善町入善3255

TEL 0763-72-1100 ext. 939-06

5月号

ふれあい  
シリーズ

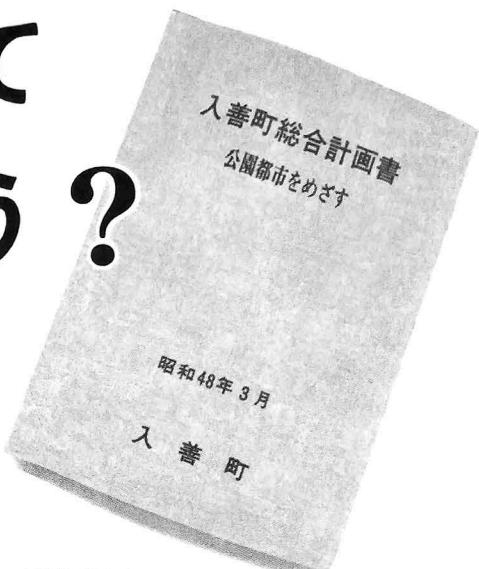
花見に集う(青島地区)

青島神社境内は、町内でも数少ない桜の名所です。

4月11日、今日は村の人たちが心待ちにしていた「観桜会」。

満開の桜を観ながら飲むお酒は、また格別なもの。老いも若きも夜の更けるのも忘れて、歌や踊りに楽しいひとときを過ごしました。

# 総合計画って何だろう？



▲昭和48年に  
つくられた総合計画書――。

4月に、各戸に配布しました総合計画のためのアンケート調査——いかがでしたか。回収も既に済み、回収率は約70パーセントを超える見込みで、現在集計している最中です。また、貴重な意見もどしどし寄せられました。

さて今月は、総合計画の意味を明らかにして、これから計画づくりがより解され、地区住民集会がより活発になるよう、『総合計画とは何か？』を考えてみました。

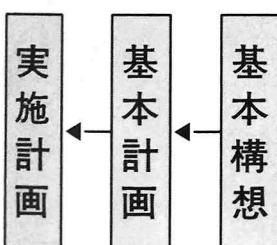
## ■10年振りに改定 昭和48年以来

- 1、行政運営の指針。
- 2、住民の日常活動の指針。
- 3、国・県等・関係機関の計画策定の指針。

となりますが、言い換えれば、町と住民が確認した、まちづくりの将来目標とその実現のための施策の基本方針ということになります。

これは、昭和65年までには入善町はこうあるべきだ、という「町の将来像」を描くもので、これを定めたのちに、基本計画、実施計画と細部にわたって計画を練つて行きます。

### ■計画づくりの順序



### ■最初に、 基本構想

#### ▼まちづくりについて

8号線を通つて、入り

やすいまち、入りにくいまち

いられないというものはな

い。曲線を描きながらスムーズに走れる道路、信号につい

ても左折はフリードするとか、

気持ちよく入れるまちにすれ

ばどうか。

これを家に例えれば、一本の道に10軒の家が並んでいたとして、道をたずねたい人が声をかける家というのは、統計学的(?)に決まっている。その条件を考え、分析すればまちづくりに応用できない

### 総合計画について ひとつこと……



前田正行さん

入善町では、昭和48年に60年をめざして「きれいで、ゆたかで、生きがいのある町」を将来像とする総合計画を策定し、その推進に努めきました。

この間、余暇時間の増大、生活

水準の向上、高齢化、高学歴化社会の進行など、私たちを取り巻く社会情勢が刻々と変わってきていました。

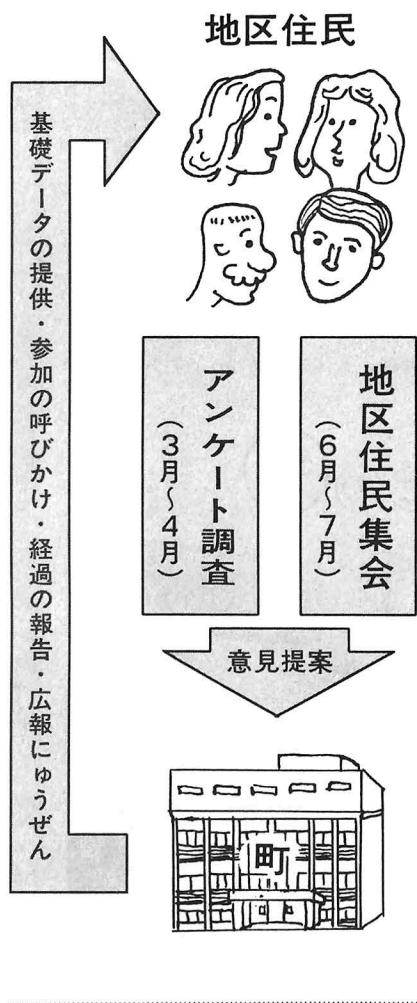
町としては、これに対応するため、これまでのものを見直し、新しい町のビジョンを探ろうとするのが、今回の「新総合計画」の策定です。新総合計画の初年度は58年で、昭和65年までの8か年となります。

そして、

## 現状の分析

「総合計画づくりは町民総参加で、——。そのシステムを次のように図示してみました。

来月からいよいよ「総合計画のための地区住民集会」です。あなたの参加をお待ちしています。



## 総合計画 今月の日程

- 基礎データの収集
  - 基本構想の素案づくり
  - アンケート集計
  - 地区住民集会の準備

とするなら、現在何パーセントな  
のかを認識しなければなりません。  
いまの入善町を、あらゆる角度  
から徹底的に分析したものを基礎  
データとし、この基礎データの持  
つ問題点を掘り下げながら、新た  
な施策を考えて行くわけです。

# ■昭和65年の入善町の姿は？

昭和65年の

入善町の姿は？

もつと端的に言えば、現在、交通安全対策にガードレール延長が10キロメートル、火災に備えて消防自動車が20台、防火思想の普及のために結成した消防クラブが5団体とします。そして、将来像をとした場合、これを実現させるためには、ガードレール延長を20キメートルに、消防自動車を40台

した。広報ではこれからも、アンケート調査の結果、基礎データの公表など、計画づくりの過程をできるだけ詳しく報告して行く方針です。

ている。企業にとつても不都合であるし、町外に流出して

● 前田正行さん  
入善在住、45歳。滑川で株  
富山テクニカルエンジニア社  
を経営。メカトロニクス（産業  
用ロボット）企業として、脚  
光を浴びています。

卷之三

行場 総合請負業者  
**電**72-11100 内線56番

総合計画について、ご意見、お問い合わせがありましたら、  
問  
い  
合  
せ  
が  
あ  
り  
ま  
し  
た  
ら、

以上、総合計画の意義、目的と  
そのあらましについて述べてみ  
た。広報ではこれからも、アン  
ケート調査の結果、基礎データの  
公表など、計画づくりの過程をで  
きるだけ詳しく報告して行く方針  
です。

工場用地や労働力の確保とともに、下請部分を引き受けている受皿がほしい。

現在町内企業を見ると、下請等で落ちるはずの大部分の仕事（お金）が町外に流出し

▼工場誘致の問題

に、消防クラブは10団体に……といつたように、あらゆる分野にわ

たつて目標水準を設定して行きます。工場用地や労働力の確保とともに、下請部分を引き受け

これが向こう8年間の施策の土  
綱となり、基本計画、実施計画へ  
と反映されて行くことになります

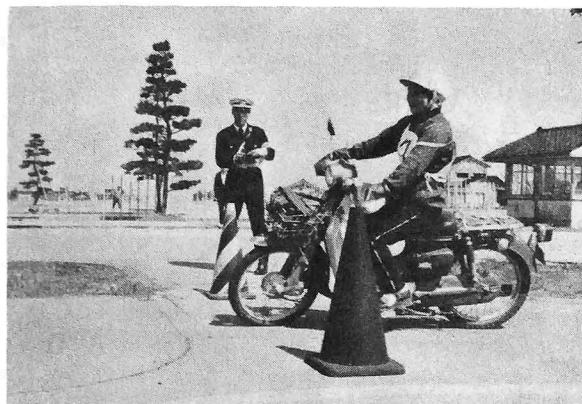
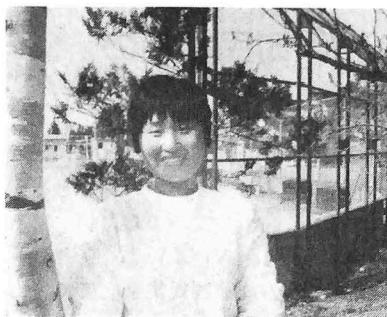
お生まれはどうちらですか？  
魚津 漁港のまちで有名な鳥取県の境港市です。高校を出てから入善町に来るまで東京で10年ほど生活しました。

——こちらへ来る前で、富山に親から、お前も負けないよう一生懸命やりなさい」と何度も言わ

魚津 売薬さんと雪深いことぐらいで。それから、嫁ぐ前に父だから、お前は働き者

## そとから見た にゅうぜん

55年5月に、東京から舟見2区の魚津敏明さん宅に嫁がれた魚津記美子さん(30歳)に伺つてみました。



## 競技しながら 交通ルールを……

### 婦人ミニバイク競技会

婦人ミニバイク競技会が、4月11日入善自動車学校で開かれました。これは、最近婦人のミニバイク利用が急増していることから、競技を通して交通ルールを体得してもらおうというものです。日頃難なく乗っているママたちも、この日ばかりは真剣そのものでした。

## 交 通 安 全 あ の 手 この 手

### あなたの自転車 大丈夫ですか

黒東安全協会と町自転車商組合では、4月15日街頭自転車無料点検を行いました。ブレーキの甘いもの、ライトのつかないもの、事故防止のためにも、ぜひ点検を!!



### 8号線に 安全標識が

#### 黒東安全協会入善支部

黒東安全協会入善支部では、4月13日、交通安全のPRのため8号線新和工業前に、高さ4.95メートルの安全標識を建てました。

「車間距離をとれ」「速度制限を守れ」——あなたは励行していますか？



入田横門吉目上入青入目墓ノ木幡宿下飯野新芦崎山原宿屋所  
膳膳中山山原川川野膳木膳川木村杉本谷川孝一水野重正飛島茂樹  
膳膳中林芳信西野徳男柏原佐竹幸雄早川修  
籠瀬明夫糸谷不可止佐々木勝英金田雅晴清田正樹佐川修  
前田田中信一金子圭一野口澄夫杉沢晴輝中林修一  
二男長女長男長女長男長女長男長男長男長男  
武千ひと愛良春幸め良智佑郁禎貴伸祐栄裕郁奈名  
俊春美太奈晴貢み子也介巧恵恵佳章一優輔寛穂哉果治前

かめら・とびつくす カメラ・ア・ペジクス かめら・とびつくす

おめでた



**見事!!  
全国3位に入賞**

全国スポーツ少年団  
卓球大会に出場した



入善中学校1年の長島裕之君は、去る3月25日から28日にかけて東京で開かれた第4回全国スポーツ少年団卓球交流大会に、富山県チームの一人として出場し、団体3位入賞を果しました。

大会には全国から45チームが参加。富山県チームは予選リーグで優勝して決勝トーナメントへ進み、2回戦で岩手チームを敗ったものの、準決勝で愛知Bチームに惜しくも敗れました。

長島君は、昨年の大会に続いて2年連続で出場しており、「昨年は予選で敗退しましたけど、今年は準決勝まで行けてうれしいです」と、うれしそうに話してくれました。

—— 実際に来てみての感想は？

魚津 父親の言つたとおりですね。働くことを苦にしていらっしゃらないようです。

—— 入善の印象は？

魚津 食べ物が先ですけど、コシヒカリがおいしいのと、ワラビ、ゼンマイ、ウド、竹の子、自然のふき……と、山の幸がふんだんに食べれるなんて最高です。とにかく、山あり、川あり、海あります。何も言うことはありません。

雪ですか？ 昨年の56豪雪を体験しましたから、もう決して驚かないと思います。

—— 入善の改善すべき点は？

魚津 冠婚葬祭にたくさんのお金をかけ過ぎるようです。ムダとは言いませんが、気持ちが伝わる程度のものを、と思います。

—— 実際に来てみての感想は？

かめり・じゅいづか カメリ・エレックス かめり・じゅいづか



きれいになりましたよ

## 農村資料館 を清掃奉仕 婦人ボランティア

婦人ボランティアグループでは、4月19日農村資料館の清掃奉仕を行い、着物の陰干しや展示物の空ぶき、外の草むしりなどに汗を流しました。



売れ行き  
ますます

苗木即売会が、4月8日中央公民館前で開かれ、ザンカ、ヒバ、どうだんつついなど、約40種、800本が次々と売れ、たいへん好評だったようです。

上	吉	春	青	舟	入	上	目	舟	一	吉	舟	野	櫛	入	芦	吉	五
飯	原	上	飯	小	舟	入	上	目	舟	一	吉	舟	野	櫛	福	島	郎
野	日	野	野	摺	入	野	野	舟	舟	吉	舟	野	櫛	島	新	八	
原	原	野	木	戶	見	野	川	見	宿	原	見	木	中	山	原	所	
上	上	藤	古	松	長	高	永	舟	當	中	大	大	中	藤	岡	住	
野	野	田	賀	原	谷	田	田	根	瀨	田	沼	割	田	井	島	郎	
森	森	と	郁	与	川	高	杉	舟	幸	中	幸	作	中	安	原	吉	
さ	さ	き	雄	四	み	た	原	志	与	田	与	作	田	原	原	原	
76	76	81	75	57	61	82	84	64	66	68	84	71	71	75	72	72	
武	一	幸	本	本	信	本	本	本	竹	本	政	本	本	愛	本	一	
夫	雄	一	人	人	義	人	人	人	次	人	義	人	人	義	人	世	
郎	雄	人	人	義	人	人	人	人	人	人	義	人	人	行	子	主	

(4月15日受付分まで)

おくやみ



幸 五 東 君 五 田 西 入 入 入 入 入 入 入 入 入 警 入 青 上 神  
 十 洋 里 紡 住 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 合 6  
 里 紡 住 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 合 6  
 町 宅 島 里 中 む 区 区 区 区 区 区 区 区 区 む 区 島 田 林

千 高 岩 室 五 田 笹 泉 鷺 竹 鍋 能 田 田 東 上 藤 五 达 上 米  
 葉 橋 潟 里 中 島 尾 内 島 登 原 中 狐 田 田 里 尾 田 原  
 武 和 豊 善 喜 信 孝 茂 磯 一 吉 昌 正 長 盛 乙 浅 加 伴  
 雄 弘 夫 郎 作 一 良 登 雄 松 雄 郎 男 雄 一 行 松 男 次 平

## 青木地区

新 吉 吉 吉 柳 道 下 邑 上 上 上 上 上  
 上 原 原 原 上 野 野 野 野 野  
 3 2 1 5 4 3 2 1  
 野 区 区 原 市 野 町 区 区 区 区  
 ○ 泉 北 森 柏 杉 中 金 愛 中 宝 中 松 池  
 尾 原 原 川 沢 場 原 田 濑 田 田  
 儀 一 盛 秋 敬 正 昭 雄 一 義 秀  
 信 男 健 正 朔 周 隆 雄 次 幸 男 雄 夫

報 園 下 高 下 五 神 三 農 宮 国  
 飯 飯 十 子 ツ 道  
 德 家 野 濑 新 里 沢 家 愛 坪 筋  
 塚 伊 塚 岩 米 沼 川 高 広 大 川  
 田 多 田 田 島 田 田 見 田 井 濑  
 政 幸 竹 政 幸 正 正 莊 健 武 正  
 平 雄 次 博 雄 春 一 作 治 成 一

向上町中

9 8 7 6 5 4 3 2 1

## 飯野地区

川 島 島 垣 坪 坪 組 北 南 村  
 ○ 西 木 笹 北 西 高 松 中 広 岩  
 野 本 原 川 川 山 原 塚 野 田  
 喜 熊 幸 隆 竹 武 耕 隆 良  
 一 夫 弘 造 孝 藏 夫 作 義 吉

駅 美 東 駅 雇 用 促 進 住 宅  
 南 善 寺 団 地 町 田  
 長 鍋 上 未 谷 谷 田  
 友 金 定 一 吾 昭

新 島 村 屋 坪  
 新 寺 海 高  
 田 崎 道 島  
 末 十 四 一  
 清 松 正 郎

## 新屋地区

区 区 区 区 区 区 区  
 野 平 若 谷 柳 松 小 ○ 長 谷 川  
 坂 崎 島 島 川 沢 原 路  
 義 才 秀 昌 秀 定 広 清 正  
 次 朝 郎 夫 英 康 男 義 俊

道 上 上 笹 板 五 蛇 高 芦 芦 芦 芦 芦  
 飯 飯 野 第 郎 崎 崎 崎 崎 崎  
 古 新 2 1 原 屋 八 沢 畠 区 区 区  
 ○ 嶋 飯 本 島 嶋 飛 滝 広 井 伊 井 山 井  
 先 田 田 尻 濑 田 島 本 田 田 田 田  
 房 信 幸 純 宗 幸 清 正 政 嘉 清 善 松  
 吉 吉 太 郎 信 一 松 義 治 作 作 清 吉 雄

○ 講師 富大教授 藤井昭二 ○ 日時 5月29日～9月25日  
 ○ 地点 新屋地区 ○ 内容 NHKテレビ「文学への招待」を視聴しながら、日本文學の代表作家や作品について、心豊かな生き方を考える。

入善町教育委員会では、町民大学を次のとおり開催します。  
 豊かな教養を吸収するよい機会です。ふるってご参加ください。

## 入善地区

区 長 の み な さ ん

○印は地区々長会長（敬称略）

## 上原地区

目 三 西 柴 西 東 町 中 中 上

川 島 島 垣 坪 坪 組 北 南 村  
 ○ 西 木 笹 北 西 高 松 中 広 岩  
 野 本 原 川 川 山 原 塚 野 田  
 喜 熊 幸 隆 竹 武 耕 隆 良  
 一 夫 弘 造 孝 藏 夫 作 義 吉

## 小摺戸地区

道 上 上 笹 板 五 蛇 高 芦 芦 芦 芦 芦  
 飯 飯 野 第 郎 崎 崎 崎 崎 崎  
 古 新 2 1 原 屋 八 沢 畠 区 区 区  
 ○ 嶋 飯 本 島 嶋 飛 滝 広 井 伊 井 山 井  
 先 田 田 尻 濑 田 島 本 田 田 田 田  
 房 信 幸 純 宗 幸 清 正 政 嘉 清 善 松  
 吉 吉 太 郎 信 一 松 義 治 作 作 清 吉 雄

## 町民大学

受講生募集

—文学・郷土史—

あたたかいご芳志に感謝いたします。

入善町善意銀行（敬称略）

(3月9日～4月8日)

		円	
高 島	清水 清	20,000	亡父清四郎の供養として飯野第2福寿会へ
門山新	前田 勝信	30,000	亡父成の供養として門山新、田ノ又福寿会へ
上 田	上田 昇	50,000	亡妻ハツエの供養として社会福祉事業資金へ
"	"	50,000	亡妻ハツエの供養として交通安全施設整備費用に
田ノ又	坂東 逸郎	30,000	亡母たかの供養として門山新田ノ又福寿会へ
入膳17区	上田真佐子	8,193	善意銀行へ(社会福祉事業資金)
野 中	江畑 悅子	5,093	拾得金の報償金を社会福祉事業資金に
高 島	広田 昭三	50,000	亡父與三の供養として飯野第2福寿会へ
入 膳	由井 庄作	10,000	老人福祉連絡員手当を恵まれない人へ
"	寺林 一夫	10,000	亡祖母かねえの供養として寺田町福寿会へ
"	宝田 力	30,000	亡母いとの供養として寺田町福寿会へ
五郎八	飛島 一郎	50,000	亡母ハナの供養として飯野第2福寿会へ
入 膳	入善町連合青年団	324	古切手収集分として日赤県支部へ
吉 原	匿 名	10,000	社会福祉事業資金として(3月分)
吉 原	中田 宝作	50,000	亡母ミチの供養として吉原第1福寿会へ
東 狐	大井清右	30,000	亡母みよの供養として東狐第1福寿会へ
一 宿	舟根 政義	30,000	亡母かやの供養として小摺戸中部福寿会へ
字奈月町	当瀬與次郎	50,000	亡妻志での供養として舟見寿楽苑へ
舟 見	舟見地区婦人会 代高邑ゑみ	30,000	ボイスカウト入善第2団運営資金に
新 屋	長谷川正志	50,000	亡祖母みよの供養として舟見寿楽苑へ
吉 原	安原 修一	30,000	亡妻菊枝の供養として社会福祉事業資金に
新上野	下飯野ちよ	30,000	亡夫力蔵の供養として新上野福寿会へ
入膳16区	藤井 実	30,000	亡父松一7周忌の供養として交通遺児の会へ
"	藤井 静子	30,000	亡母ときの供養として献血事業に
入善 中学校	青島 木下 八幡	2,000	
野球部	菊田 上田 浩行	2,000	
	南保 涉	2,000	
	小杉 青木 謙一	2,000	
	入膳17区 上田 晃広	2,000	
青 木	広野 真司	2,000	
小摺戸	秋元 春吉	30,000	
			拾得金の報償金を社会福祉事業資金に
			母が世話になったお礼として舟見寿楽苑へ
			人命救助礼金を社会福祉事業資金に

物 品 の 部

入 膳	地鉄入善営業所 山崎 佳子	古切手 286枚	日本赤十字社富山県支部へ
"	入善町連合 青年団	古切手 10,808枚	"
門 山	常福寺仏教 婦 人 会	雑布 500枚	ボランティアの一端として

門 横 横 横 横 小 小  
山 山 山 山 杉 杉  
5 4 3 2 1 2 1  
区 区 区 区 区 区

墓浦下  
島ノ山  
木新山  
◎堂中  
鍋徳山  
易島  
重佐利  
義平清直

新荒田 横  
門山 横  
住宅 又又新  
◎上久坂 前  
原保東田  
一清基  
幸松賢雄

長国上 谷 扇 小 青  
島 枝 島 口 原 杉 木  
文 東 秀 清 堅 直 正  
次 藏 永 志 次 吉 義

春 横 横 横 横 八 八  
日 山 山 山 山 幡 幡  
1 4 3 2 1 2 1  
区 区 区 区 区 区  
舟 佐 吉 松 浜 花 杉  
渡 藤 野 永 田 田 本  
裕 学 一 米 幸 昭 彦  
良 英 男 作 晴 治 蔵

6 5 4 3 2 1  
古 黒 部 古 黑 部 古 藤 春  
3 2 1 区 区 区 2 日  
◎ 小 稲 高 舟 入 山  
林 村 村 川 江 本  
和 金 直 重 正  
巖 男 一 久 政 作  
舟 舟 舟 舟 舟 舟

西 中 野 古 下 上  
今 今  
中 沢 中 林 江 江  
◎ 水 高 江 酒 松 盛  
上 田 畑 井 平 山  
孝 一 繁 敏 重 茂  
男 家 雄 雄 樹  
野 中 地 区

梨 小  
木 森  
啓 久  
治 雄  
。善称寺住職  
.郷土史家  
竹内慎一郎  
。札幌大教授  
宮良高弘  
。県教委文化課  
橋本正  
萩原修  
。ふるさとちなんだ歴史や  
文化を見直し、より一層郷土  
への理解を深める。

※ 会場は、いずれも中央公民館です。お申し込み、お問い合わせは、教育委員会（☎ 721-0133）か、中央公民館（☎ 721-0133）へ。

# 入膳出身者に 中国残留孤児が

金物義一さんの甥 —— 中野昭久さん

3月初め、中国残留孤児一張殿閣さんの身元がわかりましたが、今度は、入膳8区の金物義一さん（小鳥店経営・76歳）の甥つ子が中国残留孤児として生存していることがわかりました。

この人は、李太潤さん（日本名中野昭久・38歳）で、金物義一さんの妹——中野時子さん（昭和21年7月、当時35歳で死亡）の3男で、現在中国遼寧省丹東市に住んでいます。

3月22日に、その李さん本人から、自分の家族の写真を同封した便りが、義一さん宅に突然届いたもので、義一さん自身は「妹の時子とその子どもは全員死亡したと思つていまつた。まさか……、全く信じられない」と話しています。

亡くなつた妹の時子さんは当時、剛（昭和13年生まれ）、奉生（17年）、昭久（19年）、文子（21年）の4人の子どもがあり、終戦の年の7月、旧満州の安東市（現在丹東市）から、子ども4人を連れて日本へ引き揚げる途中、船が機雷に触れ、全員死亡とされていました。昭久さんは、養父母からそのことを聞かされ、「藤沢鉄工所」を中国人に預けたものです。

## 死んだはずの 昭久さんから 便りが届く



▲ 哥が生きていることがわかり、喜び合う金物義一さん夫妻と、弟の金物八郎さん（左）

## お知らせ

### 案内

#### こどもニジマス釣り大会

▼日時：5月5日—こどもの日、午前8時～10時  
▼場所：入善町運動公園・池  
▼対象：小学生に限ります  
▼主催：入善町フィッシングクラブ（会長・田原進さん）

#### ナイター施設の利用 野球場・テニスコート

##### ◆テニス・コート

▼4月19日から開始しています。  
間：夕方6時30分から9時30分まで（日曜・祭日は除きます）

##### ◆野球場

▼利用開始：排水工事中のため、5月中旬となる見込みです。  
▼利用時間：…夕方6時30分から9時30分まで（日曜・祭日は除きます）

◆申し込みは、いずれも毎月20日から翌月1か月分を受付け。詳細については教育委員会・社会体育係まで。

#### 墓ノ木自然公園運動広場の利用

◆墓ノ木自然公園に運動広場が整備されました。場所は、公園入口から100m入ったところです。面積は7千370m<sup>2</sup>。ソフトボールや野球、簡単なレクリエーションに最適です。

▼利用申し込みは、教育委員会・社会体育係まで。

#### 親子で参加・グリーントリム

◆運動公園内のフィールドアスレチックス

# 300号を 記念して

## —作文を募集—

毎月配布しています「広報にゅうぜん」は回を重ねて、今年8月号でちょうど300号になります。

そこで、この「広報にゅうぜん」300号を記念して、町民の皆さんから広く論文・作文を募集することにしました。論文……ちょっと固いですが、要は日頃考えていることをつづっていただきたいのです。

### —募集の要領—

#### ■資格

入善町民ならどなたでも。町出身者でも構いません。

■成人の部（高校生以上）、中学生の部、小学生の部に分けて受け付けます。

#### ■字数

400字原稿用紙で2枚程度。

#### ■応募先

役場総務課自治広報係まで。

#### ■募集期間

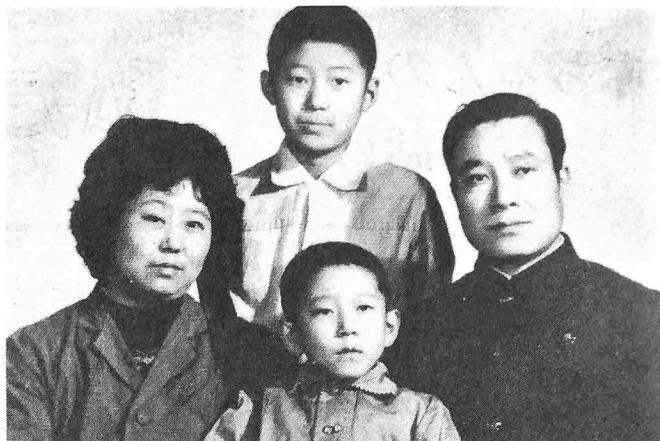
5月10日から6月30日まで。

※応募くださった方には、わずかですが粗品を進呈します。

※寄せられたご意見は、300号紙上でできるだけ紹介します。

地区の行事や催物で知らせたいことがありますたら、広報係へご連絡ください。

☎ 72-1100 内線67番。



▲ 昭久さんの家族（右が昭久さん）

身元のわかつた昭久さんは、現在、妻・孫春菜さん、長男・李俠（13歳）、次男・李偉（9歳）そして、養父の李栄春さんがあり、養母だった李相氏さんは一九四八年に病死しました。

義一さん宅に届いた便りには、「小父さんお元気ですか。日本に自分の親族がいることがわかり、心が躍る思いです。私の父母の墓

が福岡市内にあると聞き、その墓参と親族を訪ねたいと思っています。そのために今、日本語を一生懸命勉強しています」と切々とづられています。

義一さんは「本人の希望どおり一日も早く実現させてあげたい。私も長生きしていくよかつたと思います」と話しています。

## 墓参に帰りたい：

捲しを依頼していました。  
確認されたあと昭久さんは、春子さんから富山県に伯父さんがいることを聞かされ、義一さんあてに便りを送ったものです。

昭久さんの父親は中野蘭吾さん（福岡県直方市出身・故人）で、

戦時中満州で軍人をしており、終戦と同時に帰国し、郷里で家族を待っていたものの、昭和22年に全員死亡と聞き、家族の戸籍を抹消。その後、48年には死亡しました。

ボーッです。  
■丸太峰からハラハラステップまで合計35点。あなたは何点とれるかな。  
▼日時：5月9日（日）9時～12時  
▼場所：運動公園フィールドアスレチックス。

## 入善町民号の参加者を

■入善町特急停車促進同盟会では、"入善町民号"の会員を募集しています。行先は、白虎隊で名高い会津若松・磐梯高原です。ご家族で、グループで、友達同士で参加してください。

▼期日：5月25日（火）～27日（木）▼定員：240名（定員になり次第締め切ります）▼参加費：3万4千円▼申し込みは、役場商工水産課または入善駅まで。

## 募集

■日独スポーツ少年団交流のため、西ドイツの少年少女19名が、7月28・29日の2日間、入善町で宿泊研修を行います。国際親善のためにも、宿泊をお引き受けくださる家庭を募っています。

▼一家庭1名で19家庭▼できればスポーツ少年団員か16歳～20歳の方が在宅される家庭▼宿泊期間：7月28日と29日の2日▼連絡先は、教育委員会社会体育係

を楽しみながら、あなたの体力をためます

## 赤ちゃんの お世話は

### 私の一生の 仕事です

上田 キクエさん

(入暦・66歳)

「ハイ、ちょっと寒いけど我慢してね」「すぐ終わりますよ」「さあ、スッキリしたでしょう」。生まれて間もない赤ちゃんを湯につかせる上田キクエさんは、赤ちゃんの出産から育児のお手伝いに、町内各地区でかける助産婦さんです。

上田さんの赤ちゃんとのつき合いで、もう45年になります。助産婦を開業したのが昭和12年5月、16年には県内では初めての保健婦免許をとり、18年から42年まで入善町の保健婦として活躍しました。退職した後も、助産婦を

しながら町の母子保健推進員の一員で活動しています。上田さんの育児訪問は、今日も始まります。

## 私たちの広場

### ご意見を お寄せください

「ひろば」はあなたのページです。「いいたいこと」「聞きたいこと」「あなたの地区的ニュース」などをお寄せください。紙上匿名は自由ですが、原稿には必ず住所、氏名を明記してください。

あて先は、総務課広報係まで  
(☎72-1100内線38)です。



イラスト 渋谷美博(鴻山)



▲ むづかる赤ちゃんも、上田さんの優しい手で、いかにも気持ちよさそうです。

人として、乳幼児検診、母親教室の連絡や、沐浴実習の指導にあたりなど、赤ちゃんで明け、赤ちゃんで暮れる毎日です。

母子健康センターでの12年間、草野病院での10年間など、40年余りの間に手がけたお子さんは数千人にもなります。

「出産から育児、成長まで、お母さん方の相談相手のようなものですから、苦しいこともあります」と喜びも格別です。乳幼児検診のお手伝いに出ている時、「あなたに手がけていただいた子です」と言われだこしますと、につっこみ笑います。そんな時が一番うれしいですね」。

赤ちゃんのお世話をすることながら、上田さんは若い母親への教育も忘れません。

「今の若い人は、勤めの関係で育児をしゆうとさんに任せ切りが多いんですよ。疲れて帰ってきても、『自分の子は自分で育てるんだ』という気持ちで、思いっきりスキニシップして上げてください。それから、お子さんには抵抗力をつけるためにも、できるだけ母乳を与えるようにしてほしいですね」と、厳しいお言葉です。

『老いてますます盛ん』――、

## 今年1回目の おはようサイクリング

4月11日、今年1回目のおはようサイクリングに約100名が参加し、早朝のさわやかな空気をいっぱい吸い込みました。

11月まで、毎週第2・4日曜日に行われ、午前5時50分に中央公民館前を出発します。



## 高岡第一高と記念試合 ～入善高校～

入善高校では、4月18日、グランドが新しく整備されたのを記念に、高岡第一高校と記念試合を行いました。

昨年の甲子園出場チームを相手だけに、0×4と惜敗しましたが、新しいグランドで思う存分好プレーを披露しました。

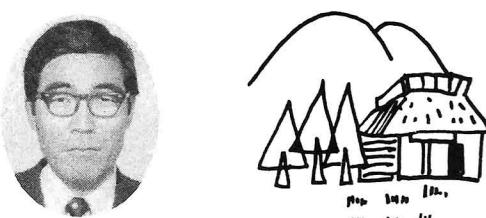
初めて会った人と名刺を交換しますと、「島瀬」という姓の方に初めてお会いしますが、いかはどちらですか?」「富山県の・ゆ・ぜんです」「にゅうぜん! ? 初めて耳にすらですが、どのように書くのですか?」

大阪から四国に移つて2年余り経ちましたが、富山県と石川県のどちらが東に位置するか、意識していない人が意外と多いですね。そのような人たちに、わがふるさと「入善町の説明をする私の声は、一段と力がこもるのであります。



島瀬 信義さん

上野出身。昭和39年入善高校卒業、43年(株)ミドリ勤務を経て、55年より四國へ。  
徳島市在住、36歳。



ふ  
る  
さ  
と  
の  
便  
り

す。「黒部川」「黒部スイカ」「沢スギ」「埋没林」などのことあります。最近は、時間的な余裕がなく、年一度の帰省さえ思いにまかせないとなれば、「ふるさとは遠きにありて想つもの……」のたとえのごとく、子どもの頃のことが頭に浮かんできます。

「川が泥水であふれた流水客土。」小学校に入りたてのころであつたろうか、町村合併を祝つて小旗を振りつつ町内を回り歩いたこと』今も私の心に神秘性を残している、うす暗い湧水の流れる沢スギで遊んだこと』など……。どれを

この欄への原稿を募集しています。町外、県外へ行つておられる方、ぜひお便りしてください。宛先は、入善町自治庁報係まで。

とっても、私の人間形成に大きな比重を占めているように思われます。数年前帰省した時に、元の警察署あとに、黒部川扇状地地域社会研究所が発足したのを知りました。種々の蔵書を見せていただき、研究所の紀要を、帰阪の電車の中で一気に読み終えたのを覚えております。その後、教育委員会発行の「杉沢の沢スギ」(天然記念物緊急調査報告書)を入手しました。広報は、昭和54年7月号より製本(?)し、大切なふるさとの資料として残しております。また最近では、籠瀬良明著「黒部川扇状地」が発行されたのを広報より知り、早速購入しました。

最近の私は、ふるさとに関する書物を通じて、私を育んでくれた入善町を再認識し、明日の生活の糧にいたく思っています。こまやかな人情と、美しい自然に恵まれた入善町——バンザイ!!

## 4月のリクエスト図書 ベスト5

- 1位 吉里吉里人
- 2位 窓ぎわのトットちゃん
- 3位 みんなじめっこ
- 4位 1980アイコ16歳
- 5位 悪魔の飽食

本の予約は電話でも受けつけます。

TEL 72-1100  
内線 39



風薫る五月、野に山にと心はずむ季節となりましたね。もう、夏の旅行プランはお決め

## あなたと 図書館

# 本との出会い ゆたかな人生

になったでしょう。

楽しい旅にするためには、まずよいプランをたてる事です。

未知の土地の予備知識には、「木曾路」「京都」「東海・北陸」など各地の観光案内がお役に立つでしょう。

旅で一番気になるのが旅館です。デラックスなホテルから、気軽に泊まれる国民宿舎や、ユースホステルまで、限りがありません。

「国民宿舎と国民休暇村」「全国ペンションガイド」「全国ビジネスホテルガイド」などは料金や、利用方法がわかりやすく書かれています。

地方色豊かな駅弁は、汽車の旅ならではの楽しみです。

図書館は、武村福祉会館2階にあります。土曜、日曜も平日通り午前9時から午後5時まで開館しています。(ただし、火曜、祝日は休館)

ご家族そろって、お気軽にご利用ください。

クイズ一〇〇人に聞きました五巻あります。土曜、日曜も平日通り午前9時から午後5時まで開館しています。(ただし、火曜、祝日は休館)

## 新着図書案内

老人と狩りをしない狹犬物語	流星(上・下)
蘭菊の狐	永井路子
赤穂の塩影	西村周作
Wの悲劇	曾野綾子
右の腕	宮尾登美子
密謀(上・下)	宮尾登美子
魚津だより	藤沢寿行
しなやかに女の時間	佐木進
お母さんの教育運動	西村寿行
酔いどれ紀行	木屋進
山口瞳	周平
池田弥三郎	隆三
豊吉	静子
遠藤	治美

### 〈今月の図書館の行事〉

#### こすもす読書会

#### 古典文学鑑賞講座

5月10日(月)

9:30~11:30

テキスト  
アメリカひじき他  
(野坂昭如著)

会場: いざれも武村福祉会館です。  
どうぞご参加ください。

5月12日(水)・26日(水)

10:00~12:00

源氏物語(あさかほ)  
講師: 中川禎子先生

富山県の民話	少年少女日本の歴史
ノンタンの本	7巻
奈良の大仏	全9巻
おとうさんの通信簿	全12巻
富山県の民話	小学館
ノンタンの本	偕成社
奈良の大仏	偕成社
おとうさんの通信簿	偕成社

小林良子	北陸、文学への旅
薬師丸ひろ子写真集	世界の博物館
富士見書房	22巻
前田愛	TBSテレビ
富士見書房	講談社



### 今月の人口

人口 29,667 (+20)	29,374
男 14,188 (+25)	14,016
女 15,479 (△5)	15,358
世帯数 7,405 (+10)	7,200
( ) 内は前月比	前年同月

4月1日現在住民登録

△「春眠暁を覚えず」——寝床から離れるのがおつこうな季節ですが、朝には新しいものがいっぱい発見できるような気がします。